

悩んでいらっしゃるお父さん、お母さん、
集まりましょう。
そして、支えあいましょう。
我が子の成長を信じて、辛抱強く、
子どもとともに悩み、歩みましょう。
子どもが自分の力で厚い冬の雪を押し破り、
春の大地に芽吹く日は必ず来ます！



連絡先

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11
大阪府教育会館706号室東 大阪教育文化センター気付
登校拒否・不登校問題全国連絡会
ホームページ <https://zenkokuren.jp>
Fax.06-6768-2527

お問い合わせは
ホームページから



お近くの会の連絡先



25.10

登校拒否・不登校問題 全国連絡会



わが子の登校拒否・不登校に悩んでいる
お母さん、お父さん、
こころを寄せてくださるみなさん、
全国の仲間たちと、
思いや悩みを語り合しましょう。

自立へ向かって
成長できる
ことを願って



ひとりぼっちで悩む人をなくしたい

登校拒否・不登校の子どもたち、それを見守る親たちが、周囲に理解してもらえず、自分を責め、孤立してしまうことは珍しくありません。その結果、つらい思いをされていることが多いのではないのでしょうか。

同じ立場の親どうし、本音で交流しあえたら…。

私たちの「登校拒否・不登校問題全国連絡会」は、ひとりぼっちで悩む人をなくしたいとの願いからスタートしました。

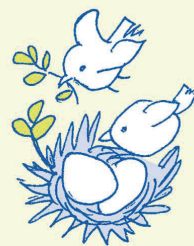
学びあおう、語り合おう、子どもたちを真ん中に

全国各地で、親どうし、また教職員、専門家とも連携して、この問題に取り組む組織ができていくなかで、もっと相互の交流を深めたいという願いから1995年に全国連絡会が結成されました。

現在、多くの個人会員と、各地の親の会や研究団体などの団体会員がつながり、地域の垣根を越えて交流しあい学びあうことを中心にして活動しています。



すべての
子どもたちが
生き生きと



登校拒否・不登校は 本人や家庭の問題なのか

登校拒否・不登校は学校で起きています。学校や社会のあり方の問題です。1992年、文部省(当時)も「どの子どもにも起こりうる」と転換しました。国連子どもの権利委員会は日本の学校教育は過度に競争的で子どもの健康や幸福に悪影響を及ぼしていると何度も勧告しています。それは教員の過労・精神疾患による休職者と、登校拒否・不登校の子どもたちが比例して激増したことに現れており、いじめや虐待、子ども若者の自殺もあとを絶ちません。

どの子にも生きやすい学校と社会を

私たちは、学校に行っている子どもたちも含めてどの子にとっても生きやすい学校・社会であってほしいと心から願います。

全国連絡会は「日本母親大会実行委員会」「子どもの権利・教育・文化 全国センター」「子どもの権利条約 市民・NGOの会」「みんな21世紀の未来をひらく教育のつどいー教育研究全国集会実行委員会」などに団体加盟し、一緒に力をつくしています。

登校拒否・不登校問題 全国のつどい

について

「全国のつどい」は、1996年から毎年全国持ち回りで開催しています。

登校拒否・不登校で苦しんでいる子どものことや、それを見守る親の心の内を語り合う交流を続けています。



また、ともに悩み、考えたいと願う学校の教職員、相談員やカウンセラー、研究者、関心をお持ちの方々も誰でも参加できます。地域や学校での取り組みやかかわりも交流します。

つどいに向けて開催地を中心に、毎月全国から集まって開かれる実行委員会もまた、語り合い、気づきを得ていく貴重な学びの場になっています。よかったらどうぞご参加下さい。

つどいで行われてきたこと

- 記念講演 ●文化行事
- 基礎講座 ●当事者や子どもたちのひろば
- 分科会(小学生、中学生、高校生、障がいのある子、学校とのかかわり・学校づくり、青年期の問題、進路と自立、居場所づくり、家族・家庭の役割、手をつなぐ輪を広げて、医療とのかかわり、非行とのかかわり、など)など

参加された皆さんの感想から

- ★初めて自分の思いを人前で話しました。
- ★自分の話を聞いてもらえるだけでうれしい
- ★司会やスタッフが同じ立場の親の方で、安心して話せた。
- ★同じ悩みを持つ人がこんなに多いんだ、自分だけじゃなかったと思った。
- ★とにかく話したかった。そして今、家にいて途方にくれている人があるならば、話をしたい、一人で悩む苦しさから解放されてほしいと思った。
- ★同じようなお父さんがたくさんいてほっとした。
- ★全国のつどいは支援者が多いのかなと思って来たら、親が多くてびっくりしました。
- ★どなたも誰一人として頑張れと言わないでいてくれて、とても助かりました。とても温かく、気持ちにゆとりが持てました。
- ★つどいは毎年参加していますが、自分の話す内容も少しずつ変わってきているなと感じます。
- ★教えられるのではなく、語って聞いて、自分で気づく場所。自分にとっては生き方を確かめる場所になっている。

全国連絡会ニュース のご案内



全国の会員から寄せられる原稿を集めて年に5回発行され、会員に郵送されます。

親の率直な思いや体験談、学校現場の悩み、各地の親の会や全国連が開いた交流会や講演の紹介などです。



全国の会員をつなぐ。
紙上の交流の場となっています。



「登校拒否・不登校問題全国連絡会」 申し合わせ

- (名称) この会は「登校拒否・不登校問題全国連絡会」といいます。
- (目的) この会は、すべての子どもたちが、生き生きと自立へ向かって成長できることを願って
 - ①登校拒否・不登校のことでひとりぼっちで悩む親や教師がなくなるよう、お互いに支えあい励ましあい、
 - ②1人ひとりの子どもたちの発達保障される教育環境づくりをすすめることをめざします。
- (活動) この会は次の活動を行います。
 - ①父母と教職員が手をつないで、専門家をはじめ、登校拒否・不登校問題に関心のある個人や団体とともに、この問題について学習し、交流します。
 - ②各地で活動を交流し、お互いに学びあい、活動の発展に役立てます。
 - ③登校拒否・不登校の子どもや、親や教師の願いをもとに、教育行政や文教政策の改善を要求し、必要な活動を行います。
 - ④ニュースを定期的に発行します。
 - ⑤その他、会の目的達成のために必要なことをします。
- (会員) この会は以上の目的や活動に賛同する個人および団体をもって構成します。
- (運営) この会は、若干名の世話人をおき、世話人会の協議によって運営します。世話会には代表者1名および、運営世話人会と事務局をおきます。
- (事務局) この会の事務局は、当面大阪教育文化センター内におきます。〒543-0021大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪府教育会館706号室東
- (財政) この会の会費は団体、1年5000円、個人2000円とします。会の財政は会費および寄付金を持ってまかないます。会計年度は1月1日から12月31日とします。

あなたもどうぞ
全国連絡会にご参加ください

